

第5回 市議会臨時会 終わる

昭和五十二年の第五回市議会臨時会が、十一月二十一日に開会され、会期一日で閉会されました。今回の市議会に上程されたものは、議案一件、報告事項四件でした。審議の結果は次のとおりです。

人事

日光地区広域行政事務組合議員の補欠選挙

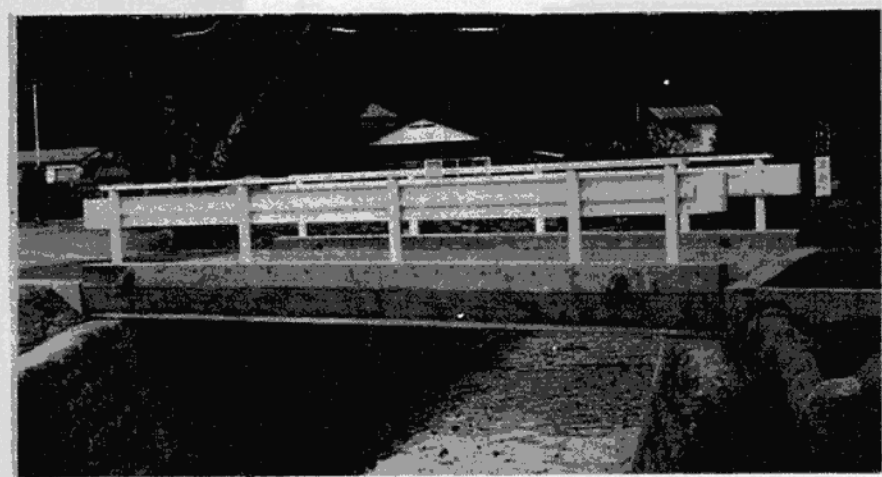
日光地区広域行政事務組合議員だった、鈴木昌次議員の死亡により空席になっていた、同組合議員の補欠選挙を行ったところ、土屋秀雄議員が選ばれました。

報告事項

- 消防庁舎建設について
- 人事院の給与勧告について
- 冬季における東武バス運行について
- 国際観光文化都市指定について (二ページに詳細記事掲載)

油川橋が永久橋に

所野憩の家から所野小学校へ通ずる市道五〇六号線の油川橋架け替え工事が、八月一日に着工され完成した油川橋



十一月十日に完成しました。今までの木橋は老朽化し幅員も狭まき、自動車は交差することができませんでした。新しく架け替えられた橋は、橋長八〇、有効幅員四〇で、総工事費五百三十万円

鈴木市議死去



市議会議員鈴木昌次氏(七十歳)は、十月二十四日午後二時三分、前立線ガンのため死去されました。昭和三十八年五月一日に市議会議員に当選以来、連続四期十四年六カ月市議会議員として活躍されました。観光経済常任副委員長、建設常任委員長、日足トンネル建設委員会委員長などを歴任されたほか、昭和二十六年十一月から三十四年十一月まで民生委員、四十四年三月から四十八年一月まで日光市消防団長、三十年十二月からは保護司などを務められ、大きな功績を残されました。

人事 (敬称略)

- ▶日光市体育協会 (十月一日付)
- ▶日光市体育協合理事 野部収
- ▶日光市教育委員会 (十月一日付)
- ▶日光市教育委員会委員長 金谷太郎 (再任)
- ▶日光市議会議員 鈴木昌次
- ▽死亡 鈴木昌次

を、費やして造られました。構造はP・C (プレストレスト・コンクリート) 工法で造られた永久橋です。このP・C工法の特徴は、橋げたを工場で作成し、現場に運搬架設するため、工事期間が短かくてすみ、経費も安くあがる利点があります。大谷川左岸道路の三つの橋も、P・C工法で造られています。この橋の完成により、小学校に登下校する児童はもちろん、車両も安心して通行することができるようになりました。

民生委員・児童委員が 決まりました

民生委員・児童委員の任期が十一月三十日に満了したので、十二月一日、厚生大臣と県知事の委嘱状の伝達式が市役所で行われました。民生委員は、民間の篤志家として、社会福祉行政進展のため地域福祉活動、要援護対策、老人、母子、児童、身障、精薄福祉など公的機関への協力、民間社会事業の推進など、広範囲にわたり重要な役割りをなっています。生活相談や困りごとがありまして、新しく任命された方々は、次のとおりです。(敬称略)

- 民生委員
- 若杉町 田中儀一 宝殿 矢野孝之輔 匠町第一 植木豪順 匠町第二 齊藤安次郎 本町第一・二 小林光雄 本町第三 四 阿原ふみ 安川町 柴田タキノ 山内 萩垣面 鈴木静
- 児童委員
- 花石町 吉野まき 久次良町 大栗弥平 清滝一丁目 星野喜一 清滝二丁目 毛塚郁夫 清滝三丁目 齊藤勝衛 清滝四丁目 神山久夫 丹勢町 大森仙寿 安良沢町 栗原幸夫、保田治雄 新細尾町 仲山弘 細尾町 星野忠 中宮祠 神山公行 菖蒲ヶ浜 室根一二 湯元 森安次郎 所野 谷田貝 礼子 広久保 吉新武二 七里 湯沢喜一 野口 高藤喜平 和泉 齊藤栄一 山久保 吉新敏明 南小来川 雑賀重行 宮小来川 佐藤佐吉 東小来川 福田くに江 中小来川 大橋庄治 西小来川 福田サノ 滝ヶ原 佐藤立春